



旧武者小路実篤邸跡を特別公開します。

- 民間所有地である「旧武者小路実篤邸跡」を2日間に限り特別公開します。
  - 公開日時：平成30年11月10日（土）・11月11日（日） 雨天実施  
両日10:00、10:30、11:00、11:30、13:00、13:30、14:00、  
14:30、15:00、の9回（1回30人ずつ入場。事前申し込み制）※駐車場なし
  - 参加費：300円（記念品代、保険料含む）
  - 内 容：明治43（1910）年、学習院・東京帝国大学の学生たちが創刊した雑誌『白樺』は、当時の若者を惹きつけ、一躍時代の寵児となりました。『白樺』の同人であった武者小路実篤、志賀直哉、柳 宗悦、有島武郎たちは「白樺派」と呼ばれ、かれらが集う我孫子は「白樺派」の聖地として、大正から昭和初期に多くの若い芸術家が集う場所となりました。  
武者小路実篤が我孫子にすまい（旧武者小路実篤邸跡、我孫子市船戸2-21-9）を構えたのは大正5（1916）年で、志賀や柳と交流を通じて思索を深め、大正7（1918）年には「新しき村」の発会式をここで執り行い、宮崎県日向へ旅立って行きました。現在、実篤邸跡に残る建物は、大正時代の建物を模して戦後建てられたものですが、庭から斜面林の景観と相まって、当時の我孫子をしのぶことができる数少ない場所となっています。  
今回、三協フロンテア（株）グループの協力を得て、現地を特別公開する運びとなりました。本年（2018年）は、「新しき村100年」のメモリアルイヤーであり、来場者には現地で武者小路実篤の思想に触れ、白樺派の文人たちを惹きつけて止まなかった「我孫子の原風景」を感じていただけたらと思います。  
当日は武者小路実篤の業績をしのぶパネルの設置、資料の特別展示、川村学園女子大学による「白樺派のカレー」（レトルトパック）の販売、ケータイゲームアプリ「文豪とアルケミスト」のキャラクターパネルの展示などを行う予定です。
- 申し込み先：我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課（04-7185-1583、平日のみ）  
10月16日以降、電話にて受付。各回30人、満員になり次第締め切り。



【問い合わせ】

我孫子市生涯学習部文化・スポーツ課  
担当 辻・今野  
☎ 04-7185-1583（直通）